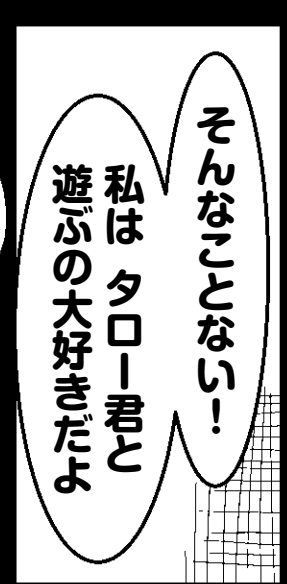
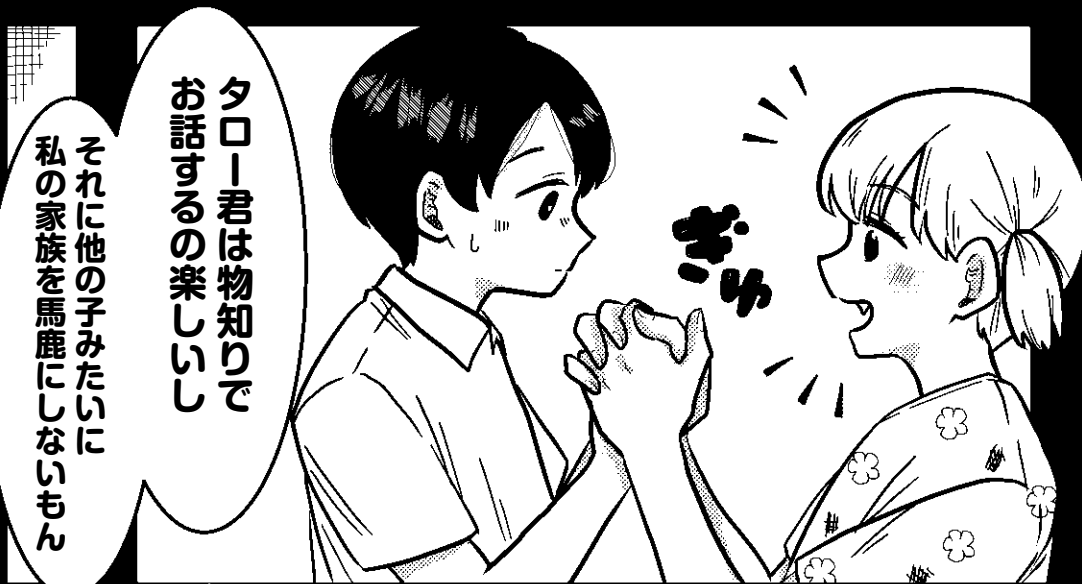


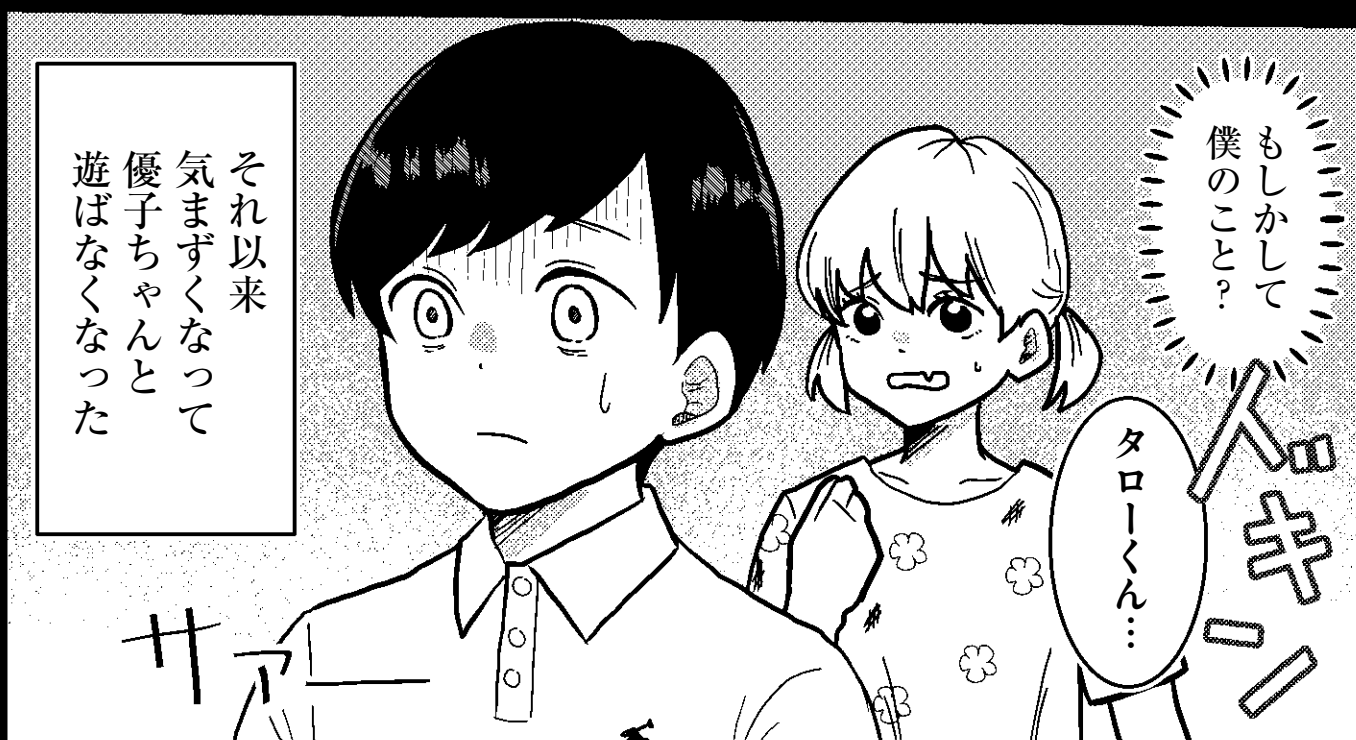


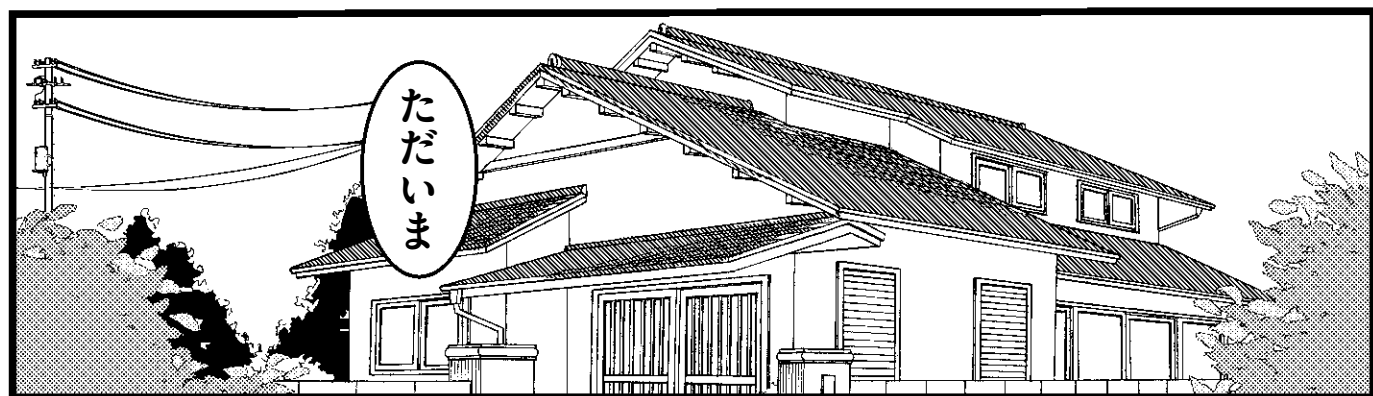


ここで過ごす時間は  
きゆうくつ  
窮屈な自宅と正反対に  
とても居心地が良かった











またこれかよ  
僕を見ないで  
親父の話ばかり

山田一郎

やまだいちろう

進路希望

進路希望を具体的に記入して下さい。

ここにいる誰も  
僕自身の希望には  
かけら  
欠片も興味がないんだ

平和な社会を。  
の実現。



太郎君は  
恵<sup>めぐ</sup>まれてるなあ

いいお家に  
生まれたね  
うんうん

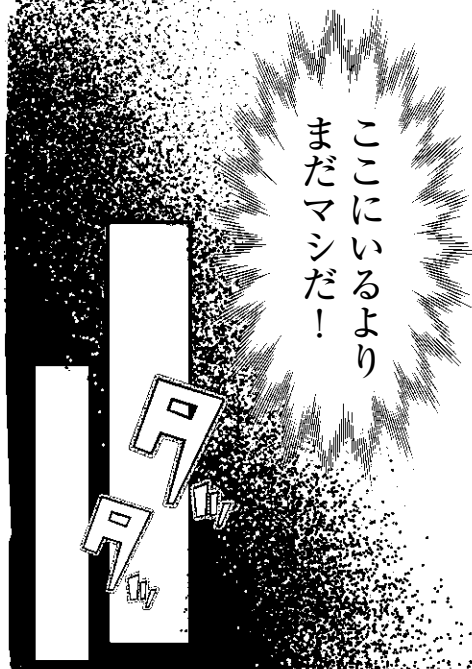
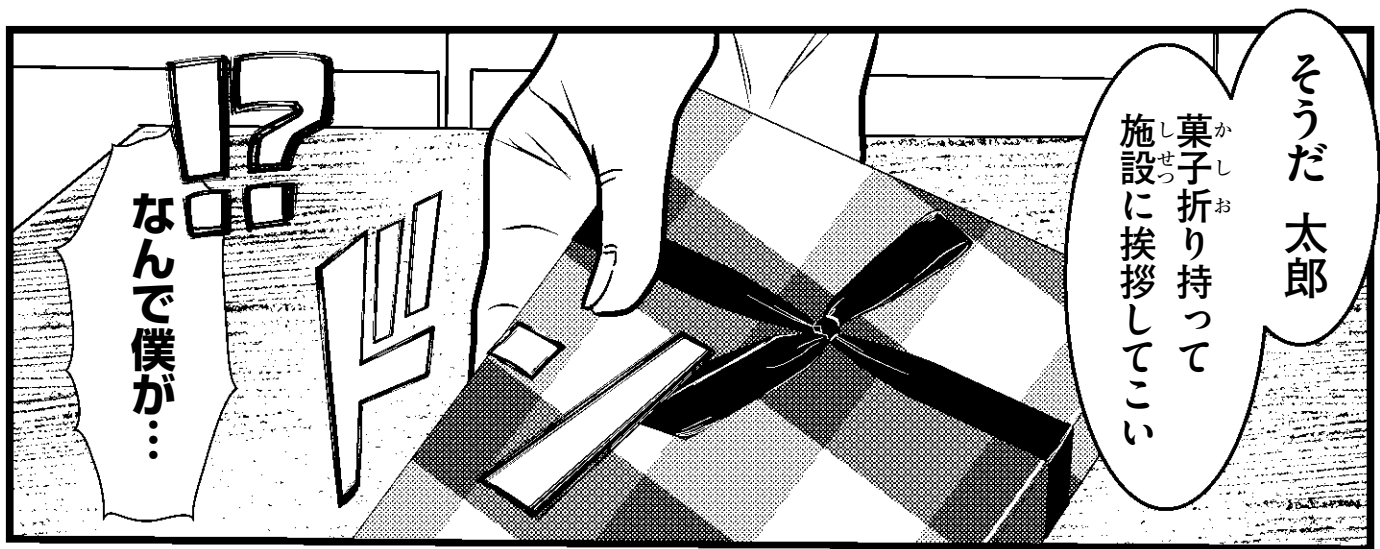
あーあ  
こいつら  
全員くたばれ

ははっ

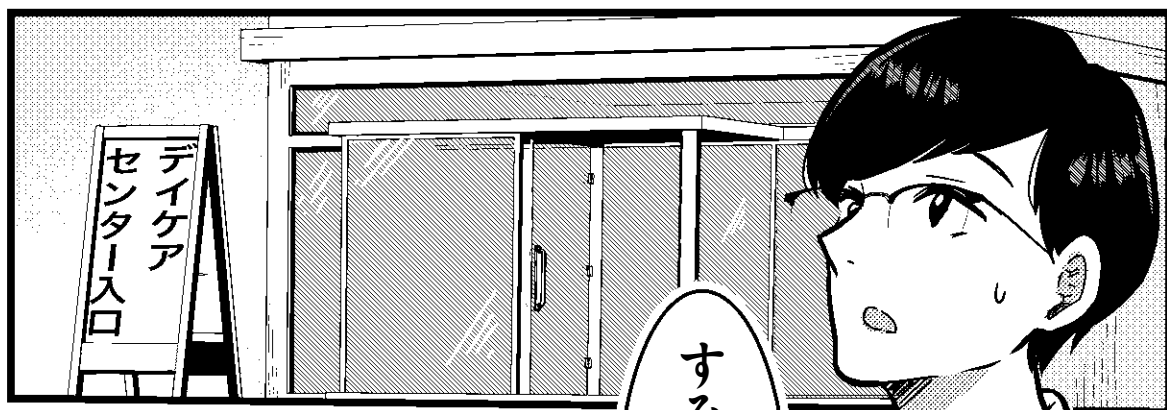
…そうですね

それにしても  
先生この度は

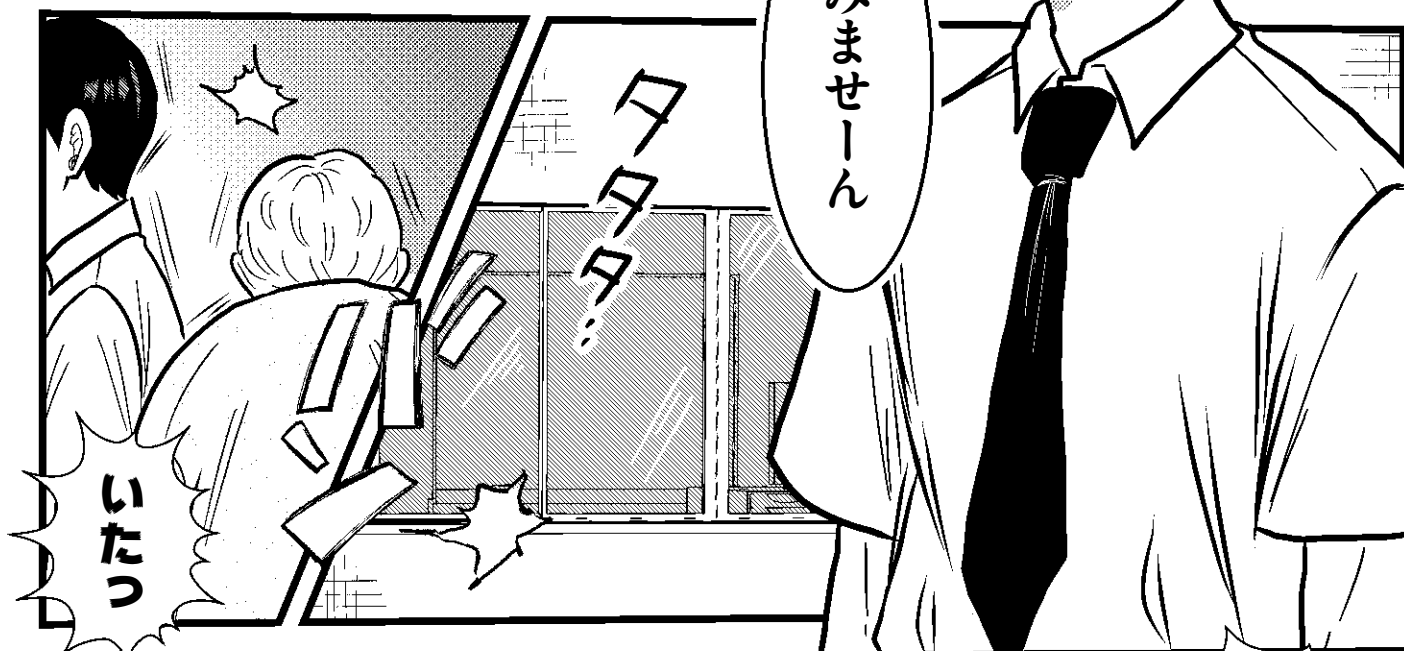








すみませーん



いたっ



おばあちゃん!



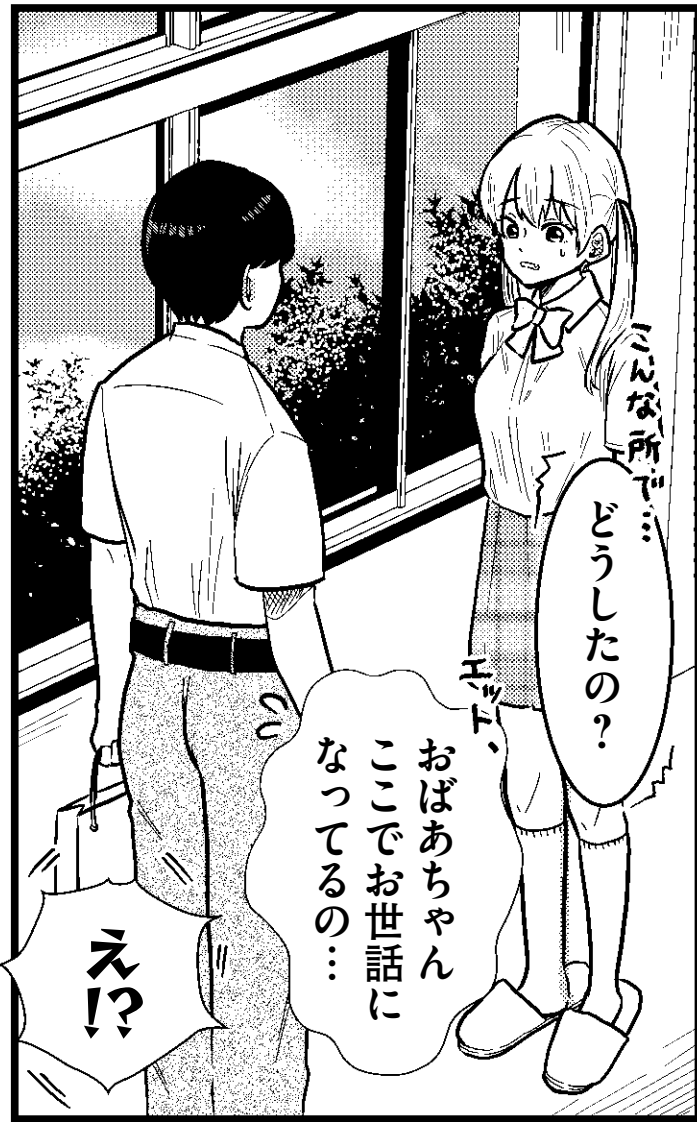
ごめんなさい

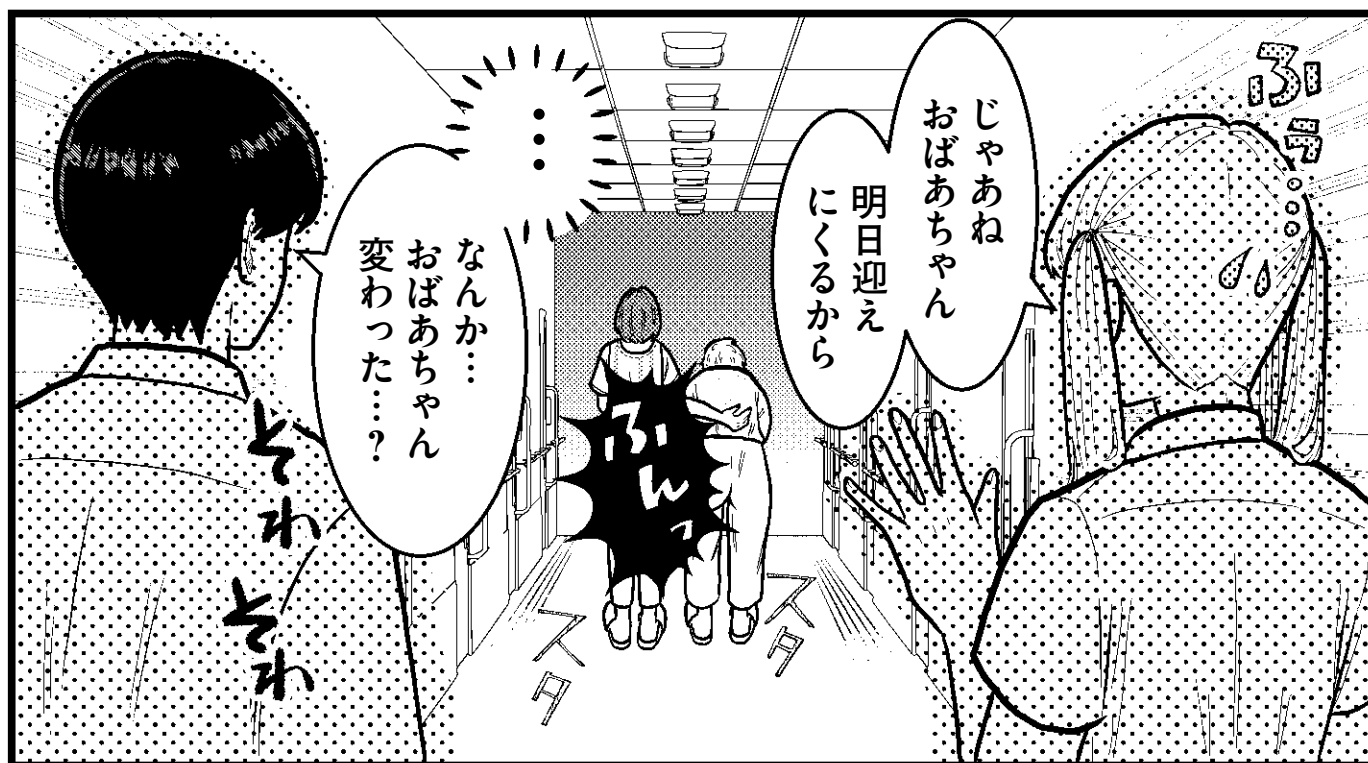
こんなところで  
ボサツと  
してんじゃない

すごい剣幕  
こわっ…

でもこの顔  
見覚えが…

うーん。。





…そっか  
大変だね

おばあさんの介護  
なんて押し付けられて…

かわいそう

って…  
思われたく  
ないから

クラスの  
みんなには  
内緒にしてね

そりゃ  
もちろん

どの家にも  
事情はあるよね

僕の家  
だって…

な何!?

タロー君  
相変わらず  
優しいね

小さい頃から  
うちのこと  
気遣ってくれて…



優子ちゃん…

昔と変わらない  
のは君のほうだ…

いつも僕自身を  
見てくれる



いやあれは…

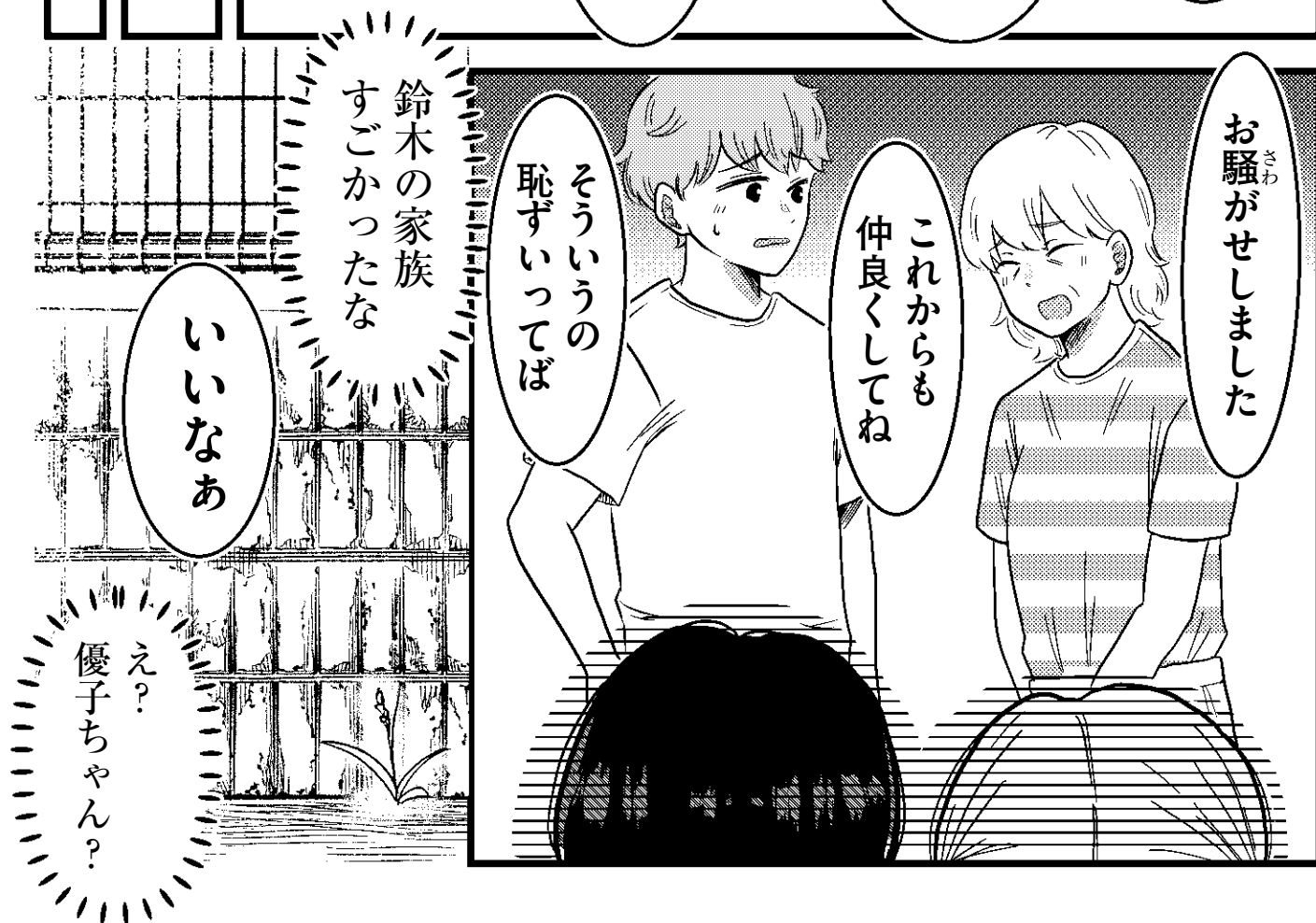
単に僕が  
気まずくて…

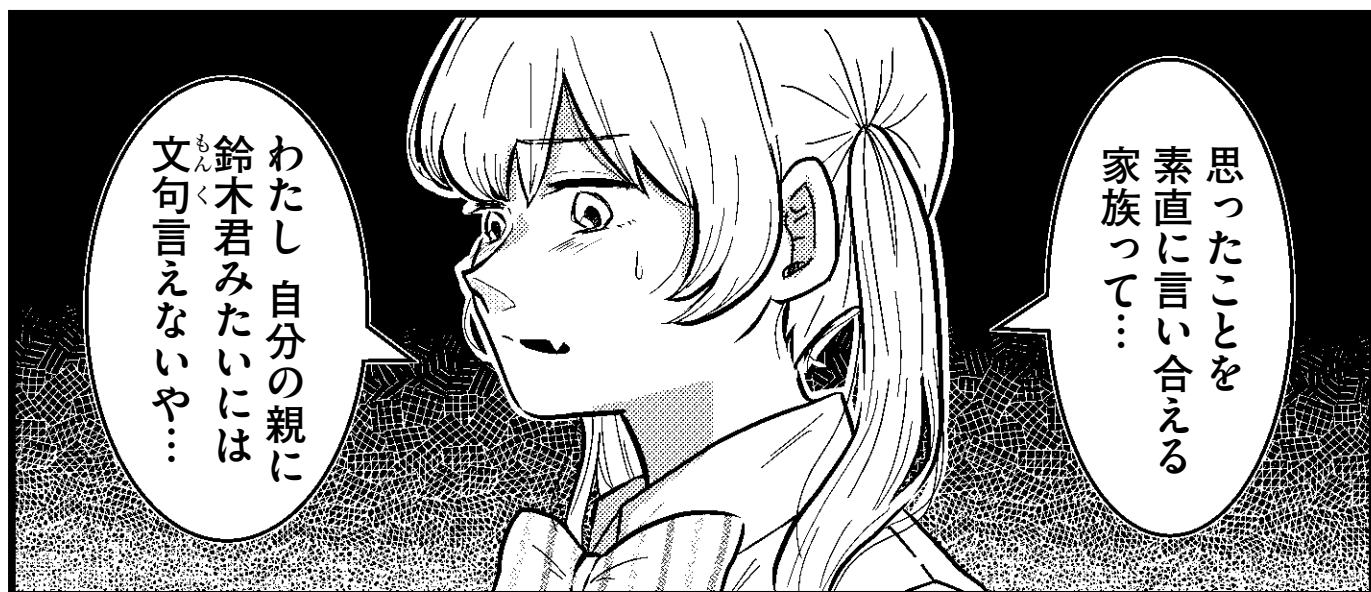


踏み込まない  
のも優しいさだよ









優子ちゃんと昔の様に  
過ごしたくて僕は  
施設に通う様になった

僕は空白の  
期間を埋める様に  
たくさん話をした

おばあちゃん  
ボケちゃってから  
別人だよ

介護があるから  
地元に残らなきゃ

卒業前にもっと  
友達と遊んだり  
部活したかったなあ

親も<sup>まわ</sup>周りの大人も  
僕の将来を  
決めてかかっている

家が裕福なだけで  
僕が特権を持った  
ずるいやつだってさ

誰も僕自身を  
気にかけるやってくれない



僕と違って優子ちゃんは  
大事に思える  
家族がいていいよね



タロー君は  
自分の時間も  
将来もあつて  
恵まれてるよ

僕の気のせいかな？

僕の辛さも  
寂しさも  
曝け出した

でも  
わかり合えている  
気がしないんだ

優子ちゃん  
来てるかな

## ニコニコデイサービス

おばあちゃん  
どごなの!!!

桜場さん  
いないわね

出ていったん  
じゃない?

今日も文句  
言ってたしね

ご迷惑かけて  
すみません!!

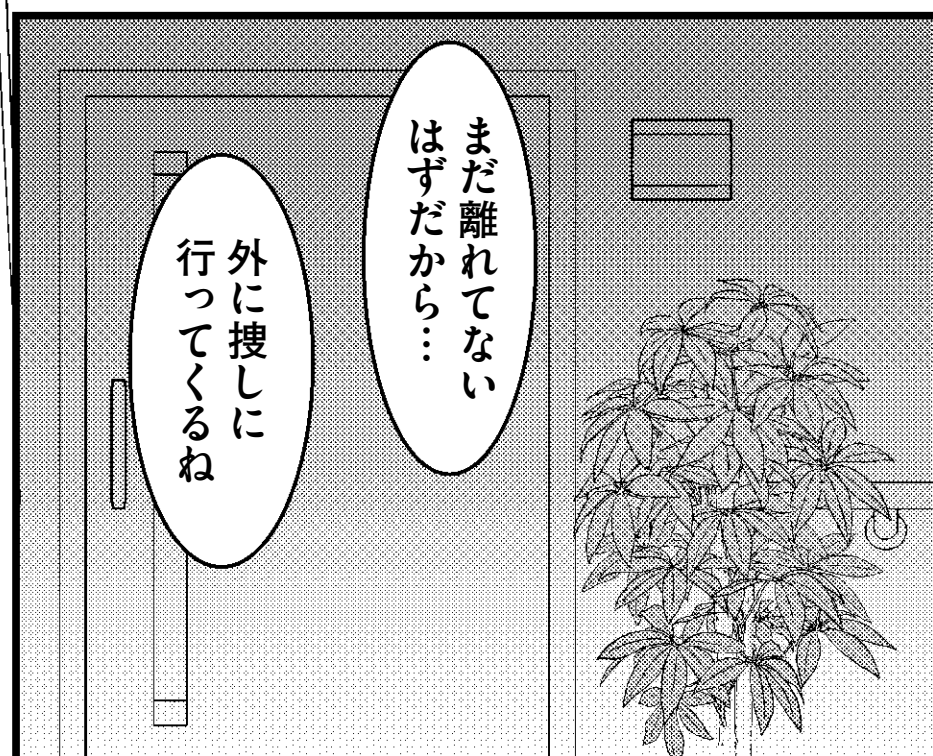
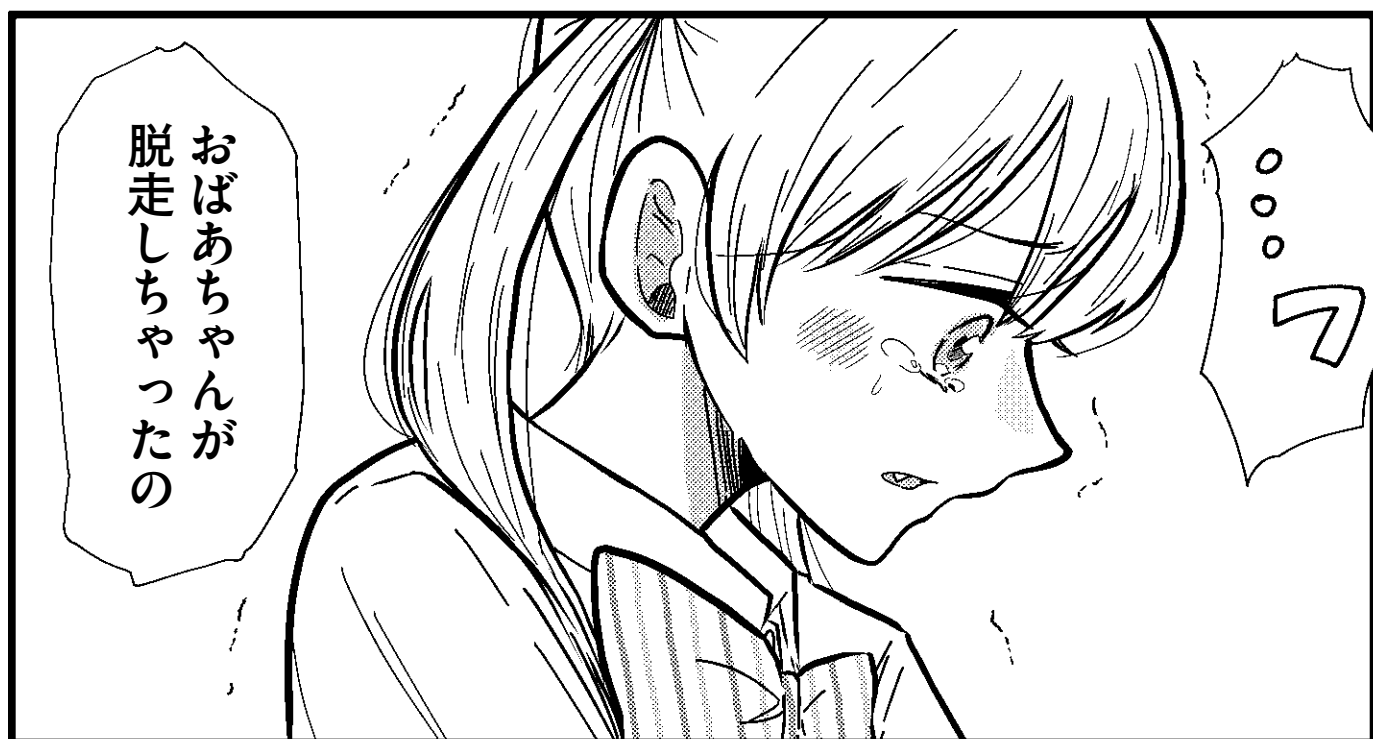
おばあちゃん  
どごなの!!!

なんだ?

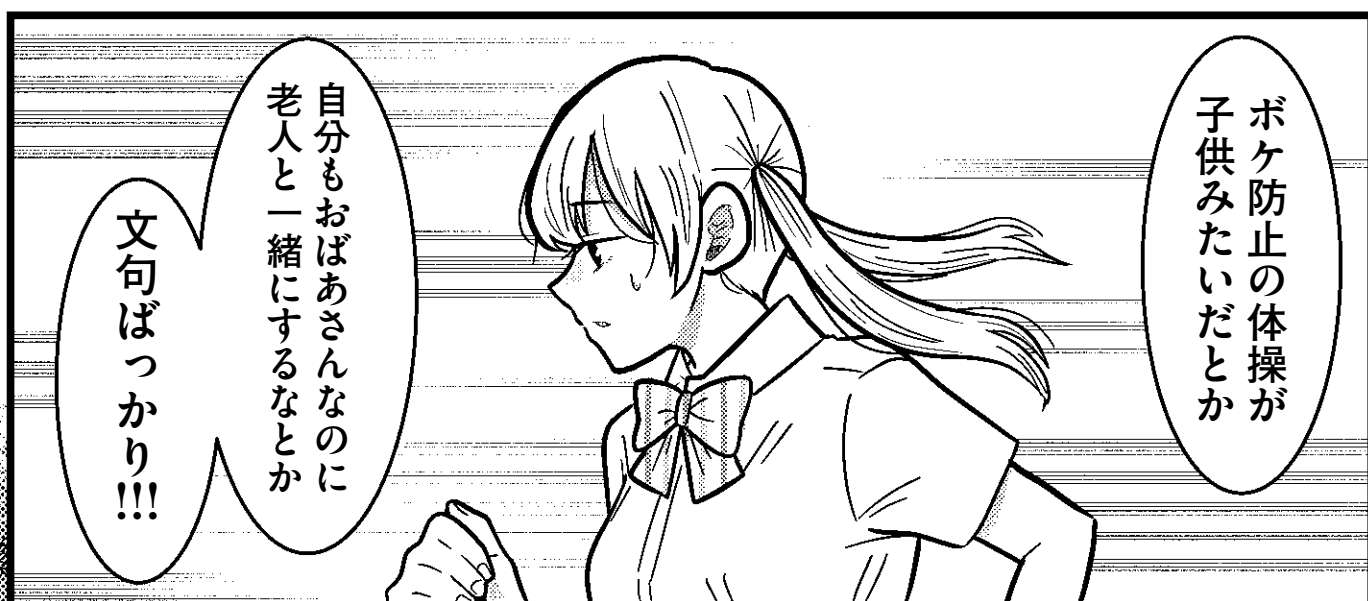
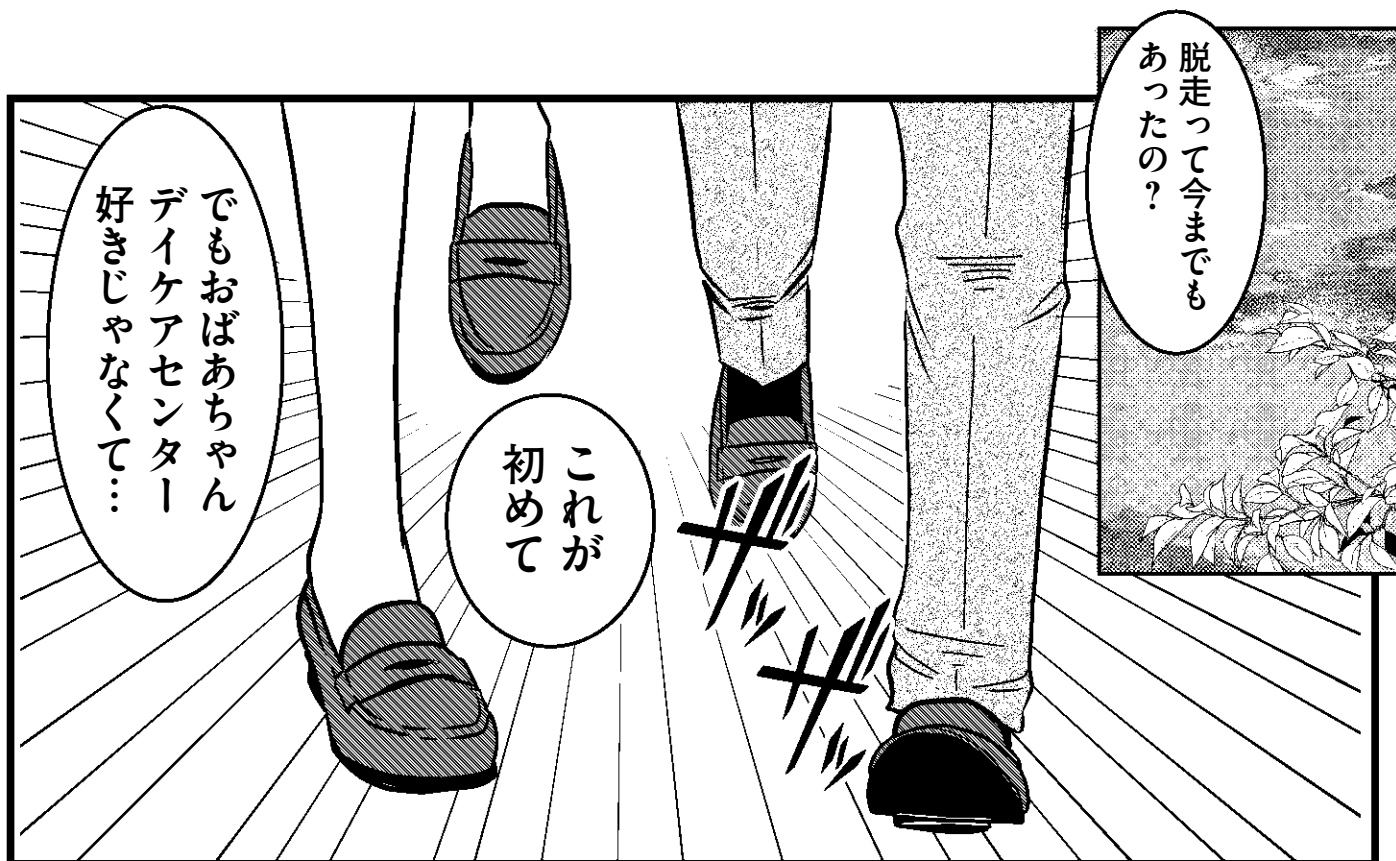
優子ちゃん  
どうしたの!?

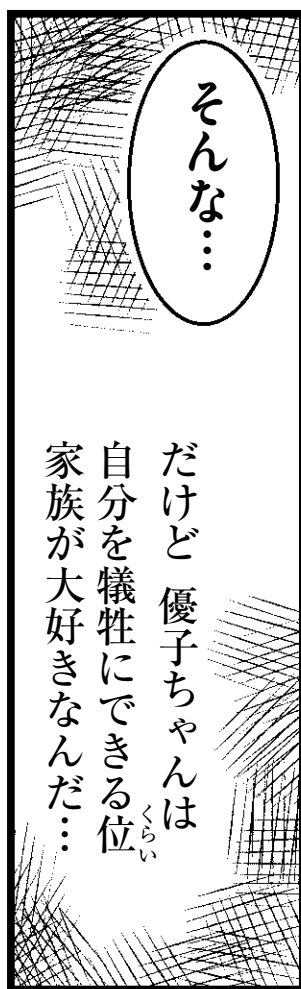
オロオロ

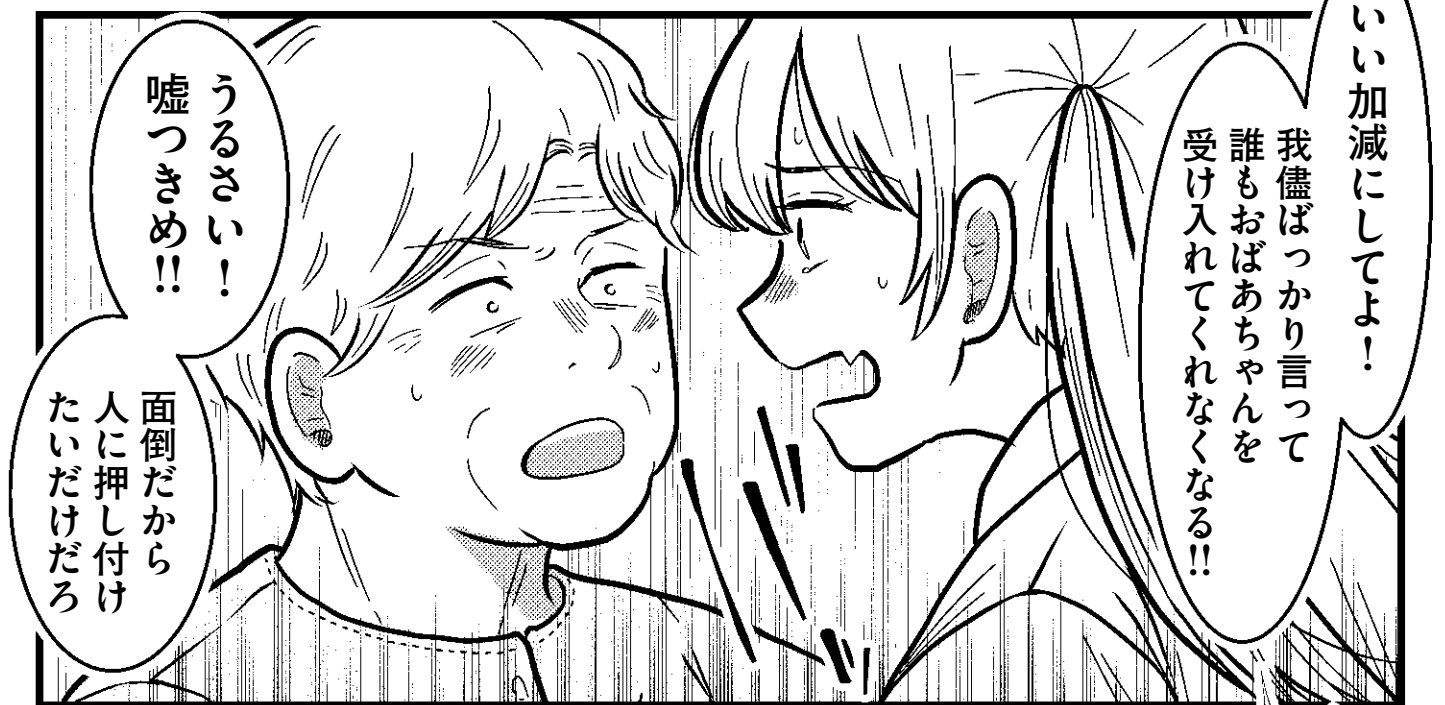
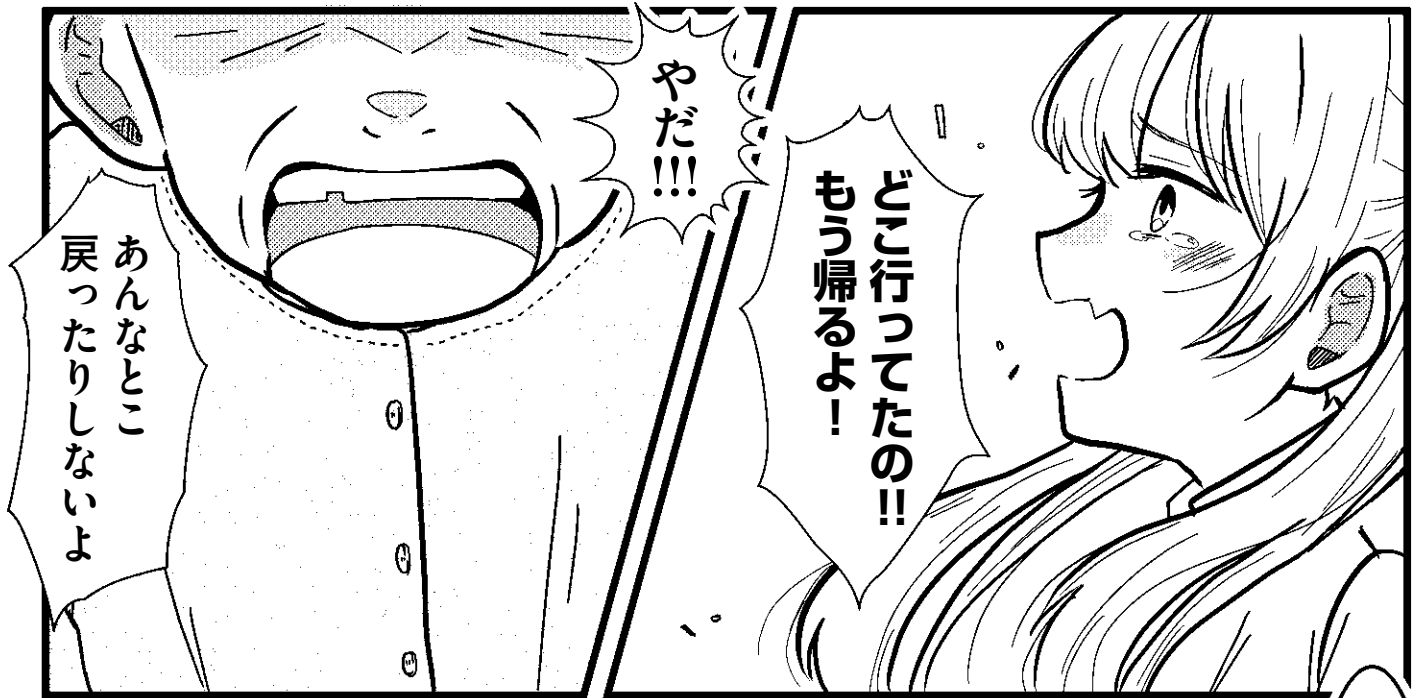
タロー君



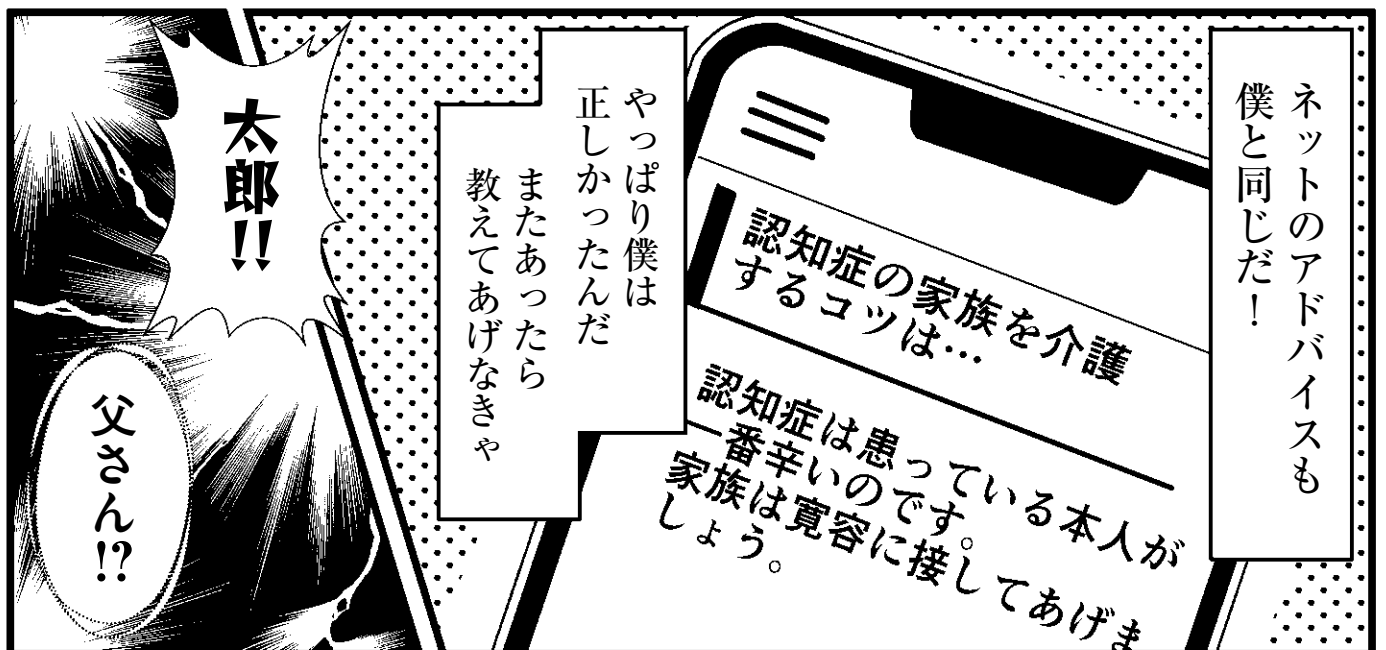


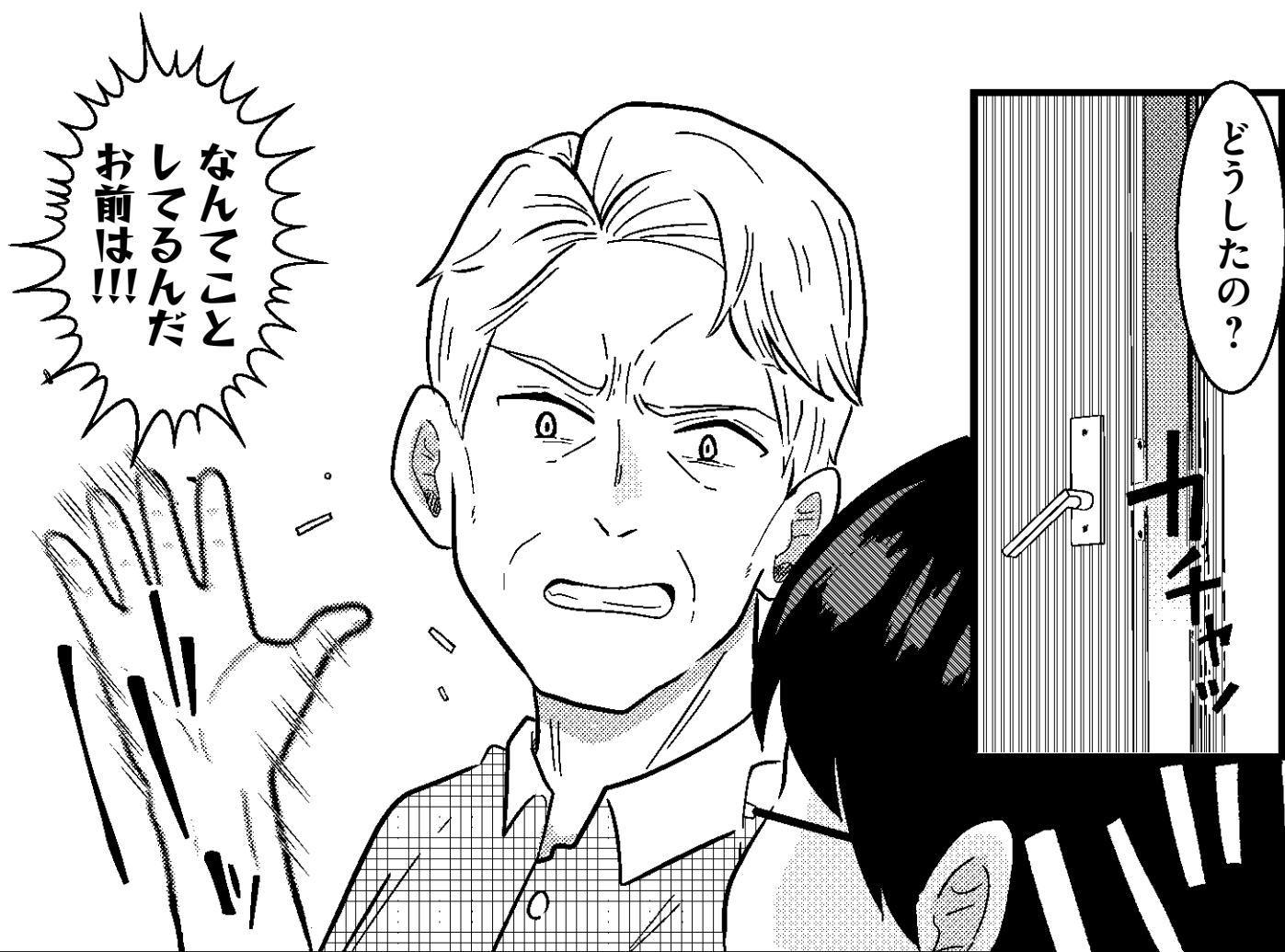
















優子ちゃんは実際に  
大変な思いをしてるのに

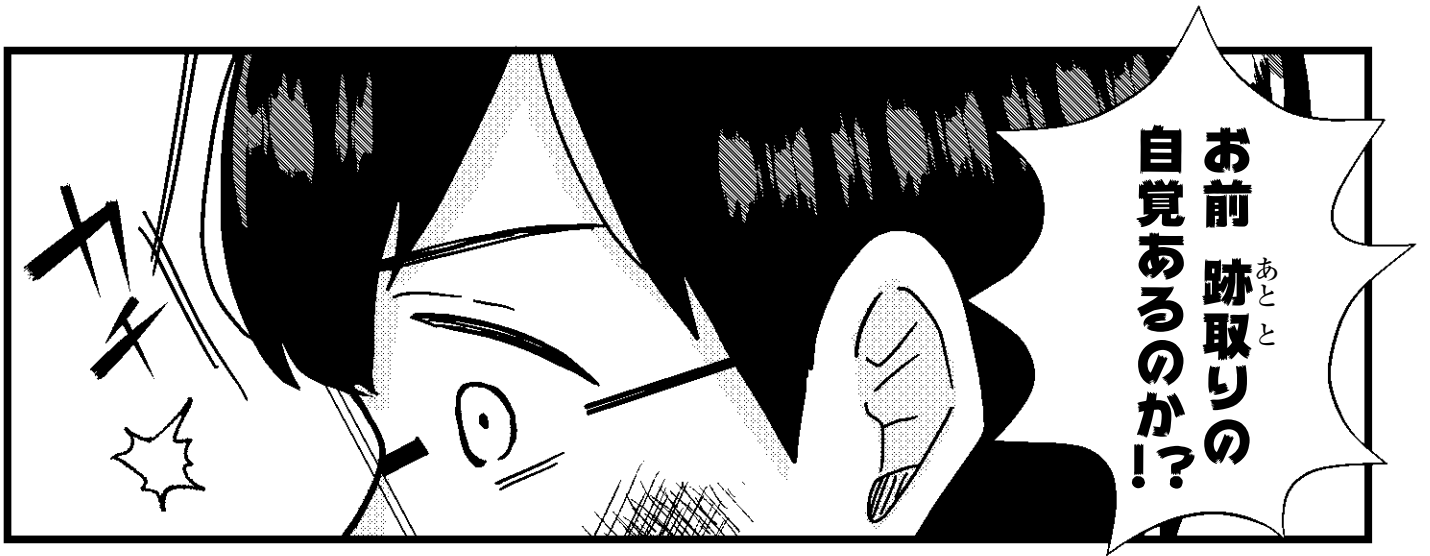
父さんには自分の利益しか  
見えてないのか:

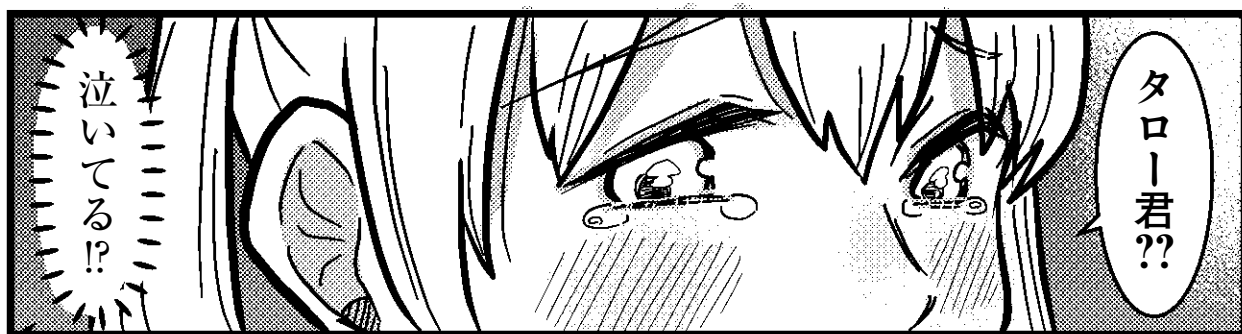
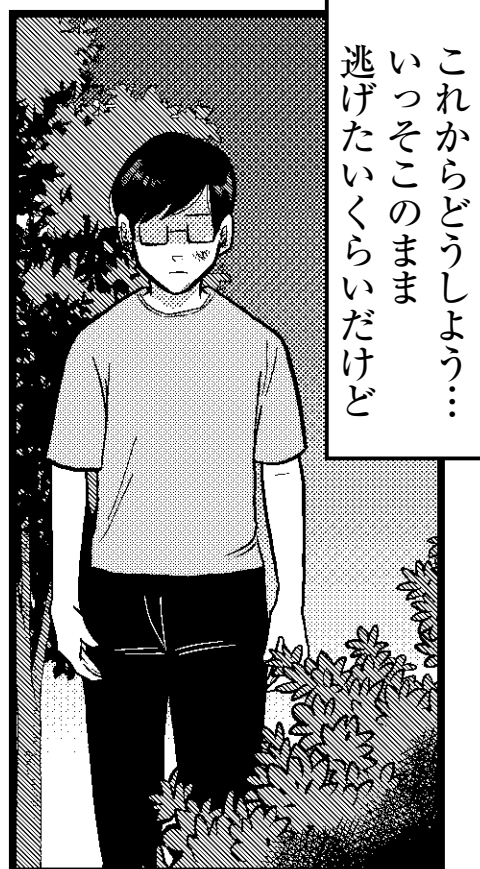


けいべつ  
軽蔑するよ!!

こんな奴が  
政治家なんて!

親に向かつて  
なんだその目は!?





僕も親と喧嘩して  
出てきたんだ!!!

あいつら  
僕たちのこと  
考えちゃいないよ

いつも自分の  
利益ばかりだ!!

だから

優子ちゃん  
僕と逃げよう

親に縛られず  
暮らすんだ  
卒業したら  
上京してさ

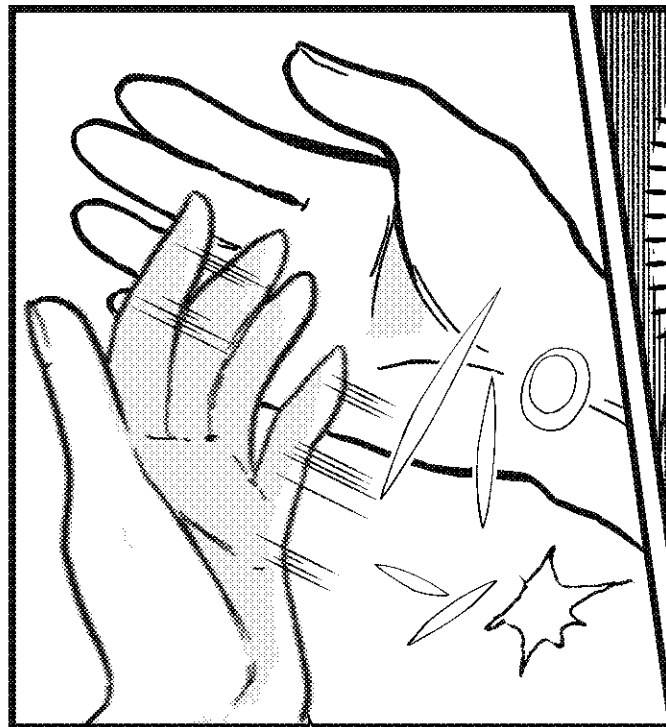
優子ちゃんだって  
こんな生活  
うんざりでしょ?

タロー君...

タロー君って  
馬鹿なの？

え？

優子ちゃん？



そんなに  
世の中甘くない！



頼れる家族がいる  
お金の不安もない  
将来も約束されてる

私にないもの  
全部持ってるのに  
何が不満なの？

アルバイト経験  
すらないのに  
じりっ  
親の力を借りず自立？

そんな寝言<sup>ねごと</sup>言えるのは  
タロー君が恵まれてて  
現実知らないからだよ





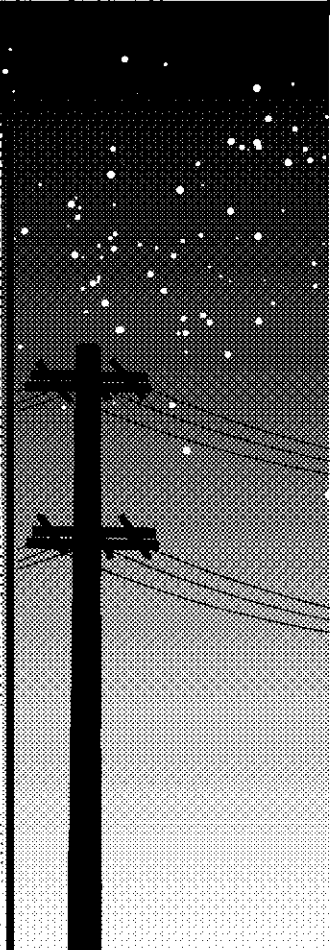


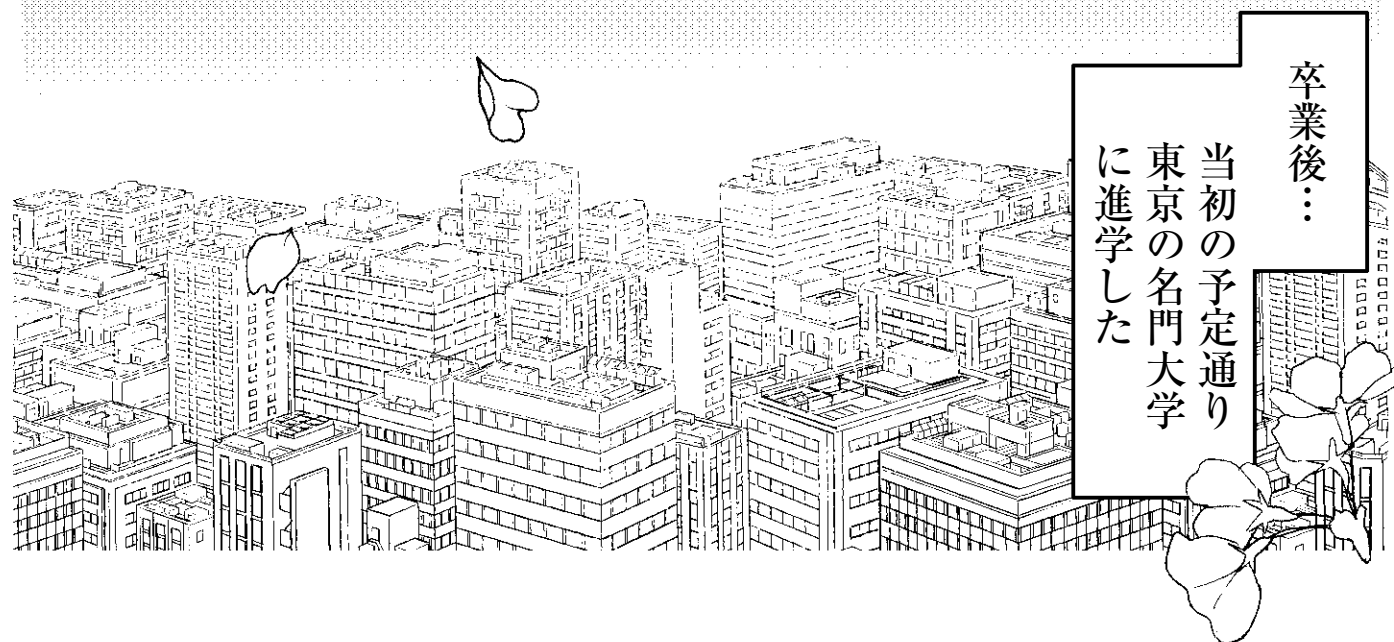
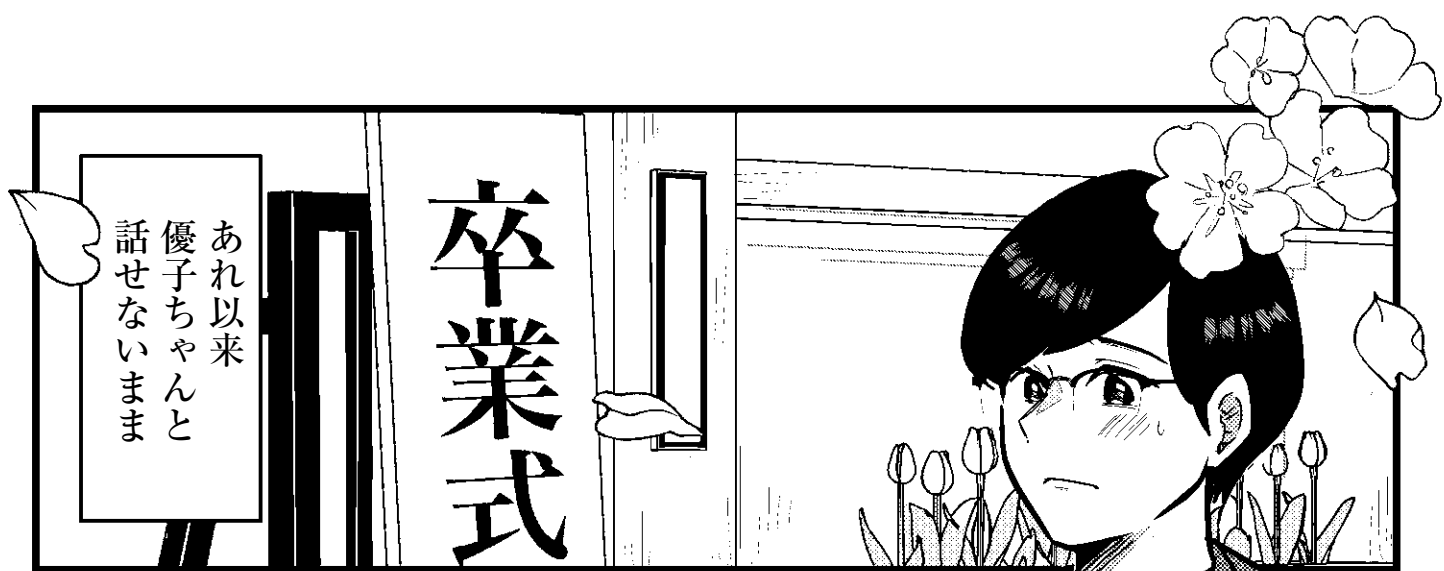


助  
け  
た  
い  
?  
優  
越  
感  
に  
浸  
り  
た  
い  
の  
間  
違  
い  
で  
し  
よ  
?



あ  
の  
時  
の  
笑  
顔  
は  
感  
謝  
じ  
や  
な  
く  
て  
...







大学で  
僕は社会福祉を  
学びながら

子供の教育支援に  
従事した

それは  
彼女の境遇を  
理解したかったから

そして支援を続けられ  
また笑顔を僕に向けて  
くれると期待したから

とはいえ 現場での  
支援には  
限界があった

より川上から  
社会を変えていくことが  
必要だと思った

成果を出して彼女に  
認められるためにも！

そして今年  
父の跡を継ぐ  
ことを決意した

あれ??  
タロー君?

え!!

もしかして…

優子ちゃん!?

うん!  
ビックリ!

久しぶりだね!!

タロー君  
変わらないね!

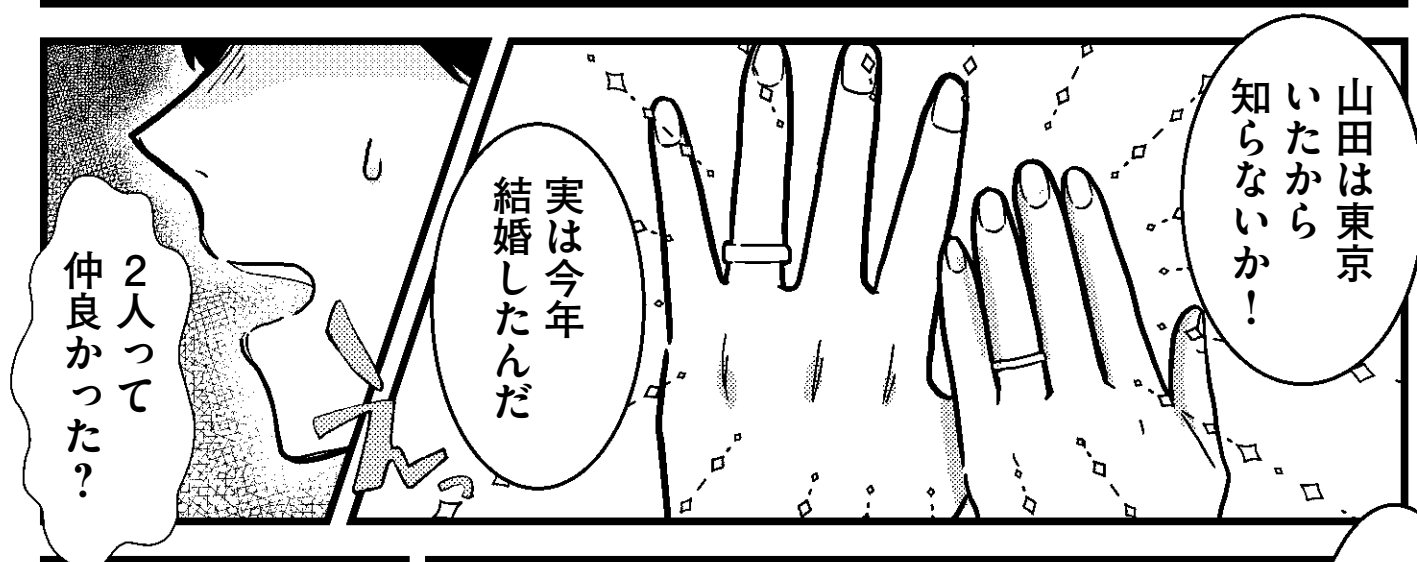
そうかな…

優子ちゃんは  
すごく変わった…

キラッ

えっ…











優子ちゃん  
幸せそうだな

あの頃のこと  
あんなにあっさり  
受け入れて

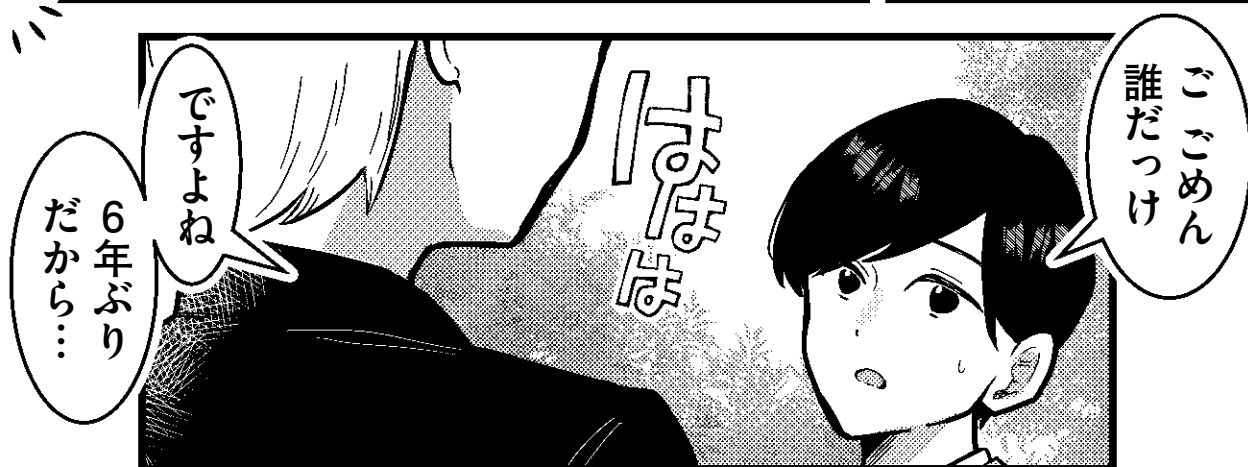
10年…  
彼女はもう違う人生を  
歩んでるんだ



僕は彼女の  
笑顔を見たくて  
一生懸命だった…

でも僕なんて  
いなくても彼女は  
幸せになれたんだ

それじゃあ  
僕の10年は  
無駄だったのか？





今年から18歳で  
成人なんて…  
まだ高校生なのにさ…

親も頼れないのに  
社会からも守ってやらない  
って言われてるみたいだ…

そうだ見た目は  
成長しても  
まだ子供なんだ…

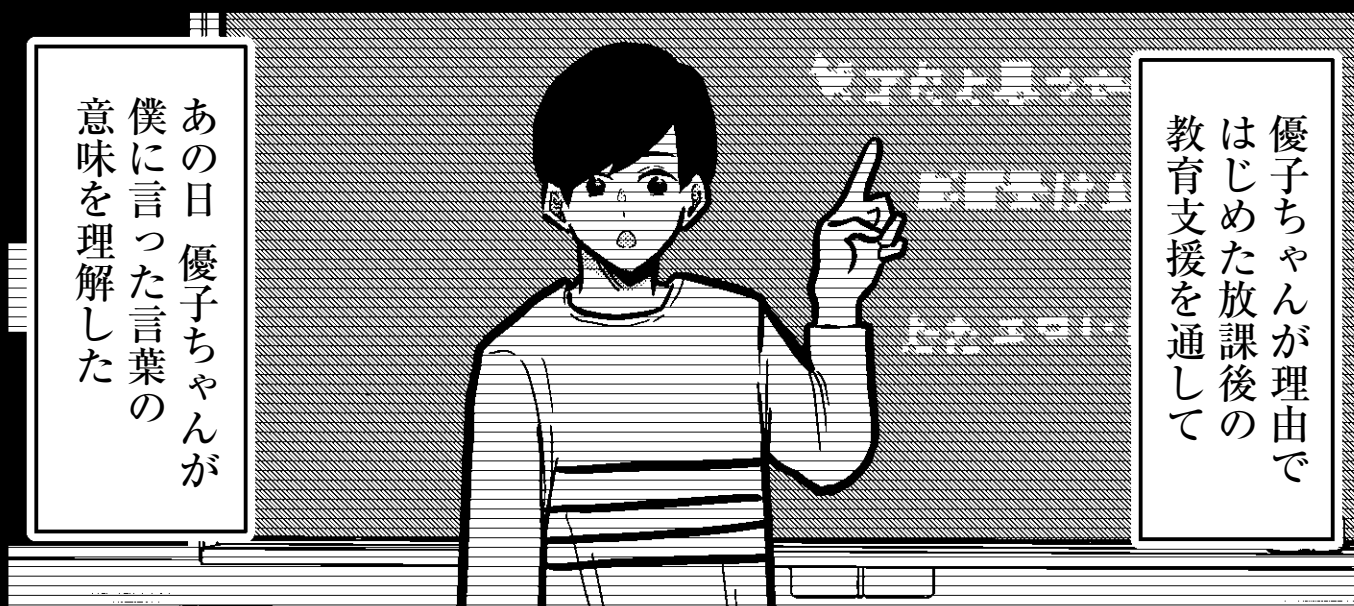
そんな子供に不安を  
抱<sup>いだ</sup>かせる社会…

問題は十分わかって  
いたつもりなのに…

先生？

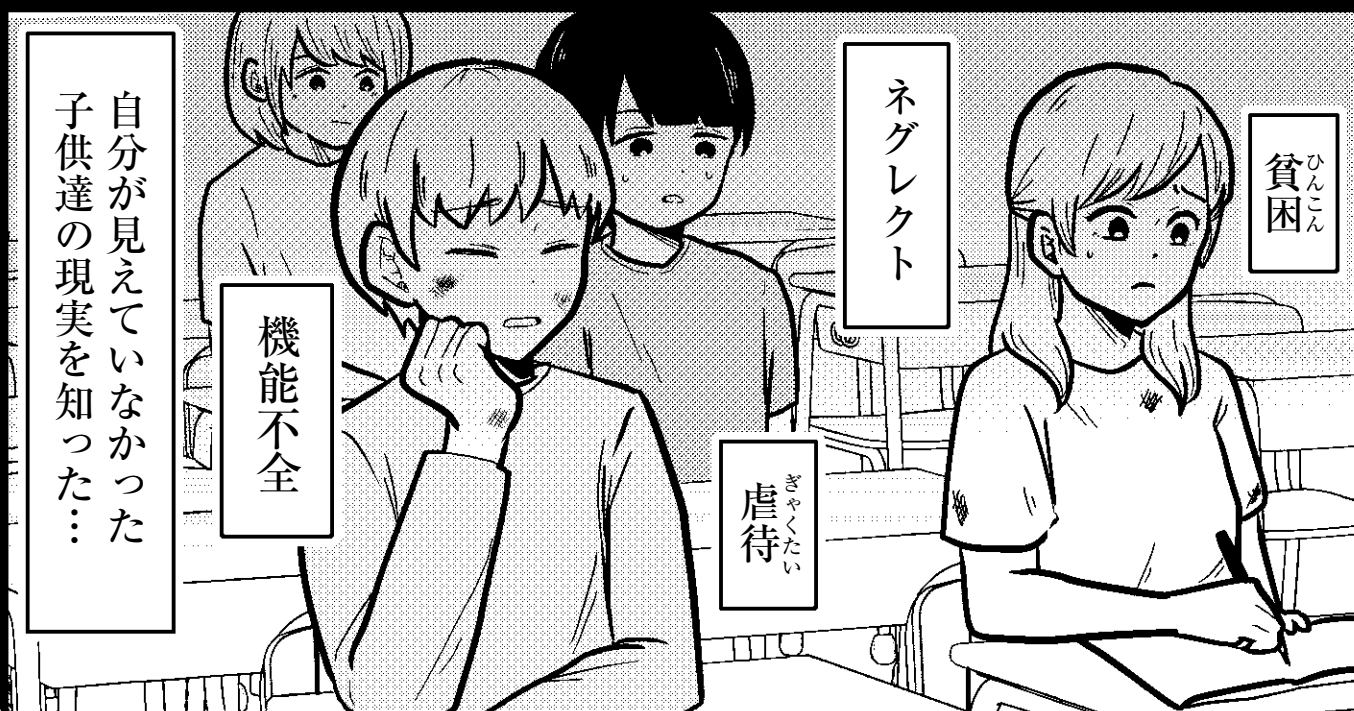
変な顔して  
どうしたの？

僕がこの10年で  
感じてきたこと…



優子ちゃんが理由で  
はじめた放課後の  
教育支援を通して

あの日 優子ちゃんが  
僕に言った言葉の  
意味を理解した



貧困  
ひんこん

ネグレクト

虐待  
ぎやくたい

機能不全

自分が見えていなかった  
子供達の現実を知った：



彼女を傷つけた過去も  
生まれも変えられない  
でも 恵まれた僕だから  
できることがある

やるべきことに  
向き合う時が来た

もう自分の痛みを訴える  
だけの子供じゃない  
人の痛みを理解して  
助ける力も持った大人だ





僕は君が安心して  
大人になれる社会を  
作るよ

先生…

それにこれから子供が  
君のように苦しまない様に  
していく

僕は自分をわかって  
もらうことばかりに  
一生懸命だった



そうかな？

先生はこれまでも  
僕たちに向き合っ  
てくれたと思います



いまさら  
今更かもしれないけど…

やっと自分の  
やるべきことを  
理解したんだ



